

第 92 回〔一級小型自動車〕

平成 28 年 5 月 8 日

12 問 題 用 紙

【試験の注意事項】

1. 試験は問題 1 と問題 2 があり，試験時間はそれぞれ 5 分です。問題 1 が 5 分以内に終了した場合，試験開始後 5 分のブザー吹鳴まで問題 2 には進めません。
2. 試験開始のブザー吹鳴と同時に試験時間がカウントされるので，入室後は速やかに氏名(フルネーム)を申し出て，問題 1 に進みなさい。
3. 試験中，試験委員に対して受験者としてふさわしくない言葉づかい・態度があった場合は，減点の対象となります。
4. 試験終了後は，この問題用紙を持ち帰りなさい。

【不正行為等について】

1. 携帯電話等の電子通信機器類は，試験会場に入る前に必ず電源を切って，カバン等に入れておいてください。
2. 試験時間中(試験会場内)において，携帯電話等の電子通信機器類を使用した場合は，不正の行為があったものとみなし，試験を停止し，又は，その試験を無効とすることがあります。
3. 登録試験に関して不正の行為があったときは，当該不正行為に関係ある者について，その試験を停止し，又は，その試験を無効とすることがあります。

この場合において，その者について，3 年以内の期間を定めて登録試験を受けさせないことがあります。

問題 1. スズキ氏は、「時々ハンドルが重くなる。」という症状の点検を依頼するため、本日、自動車に乗って整備工場を訪れた。下記の情報をもとに、依頼に関する「基本的な問診」を実施しなさい。

なお、問診後に試験委員が点検方法などについて質問するので答えなさい。

続いて、自家用乗用自動車等の「かじ取り装置のハンドル」について、国土交通省令の自動車点検基準では、2年ごとにどのような点検をするよう定められているのか、試験委員の求めに応じて回答しなさい。

〔自動車に関する情報〕

自動車の種類	小型四輪自家用乗用自動車	
初度登録年月	平成27年7月	
エンジン	電子制御式ガソリン・エンジン	
総排気量	2.0ℓ	
駆動方式	FF 2WD	
トランスミッション	CVT	
ステアリング形式	電動式パワー・ステアリング(EPS)のラック・アシスト式	
ブレーキ仕様	フロント	ディスク式
	リヤ	ディスク式
総走行距離	8,000 km	
自動車の乗車定員	8人	
その他	この自動車は土日、レジャーや買い物に使われている。	

問題 2. サトウ氏から、「ライト・スイッチをオートの位置にしたとき、常にライト類が点灯状態となる。」及び、「エアコンの風の吹き出し口がデフロスタ(DEF)から切り替わらない。」という故障の修理と、「1年定期点検整備」及び「日常点検整備」の依頼があり、必要な点検整備作業を行った。

1. 試験委員の指示に従って点検整備記録簿の情報をもとに、次の(1)~(2)の順序で説明しなさい。

- | |
|-----------------------------------|
| (1) 依頼された故障の内容、修理内容及び修理後の確認結果について |
| (2) 点検整備記録簿の次の項目について |
| ① 交換した項目 |
| ② 調整又は測定の数値のある項目 |

なお、試験の都合上、以下のとおり留意して下さい。

- ① 点検整備記録簿、交換部品を試験委員に向けて説明する必要はない。
- ② 点検整備記録簿には必要事項を書き込んでよい。
- ③ 整備保証の適用及び整備料金の説明は行わなくてよい。

2. 上記「1. (1)~(2)」の説明終了後、試験委員が「LLC(ロング・ライフ・クーラント)の保守管理を怠った場合の影響」について質問するので二つ答えなさい。

〔情報〕

1. 自動車に関する情報

自動車の種類	小型四輪家用乗用自動車
初度登録年月	平成 22 年 5 月
エンジン	電子制御式ガソリン・エンジン
総排気量	1.5 ℓ
駆動方式	FF 2WD
トランスミッション	CVT
年間走行距離	約 13,000 km
総走行距離	78,000 km

2. 点検整備作業等

- (1) 「ライト・スイッチをオートの位置にしたとき、常にライト類が点灯状態となる。」及び、「エアコンの風の吹き出し口がデフロスタから切り替わらない。」という故障の修理と1年定期点検整備及び日常点検整備を実施した。(作業内容は点検整備記録簿のとおり)
- (2) エンジン・オイルとオイル・フィルタはサトウ氏の依頼により交換した。
- (3) 故障修理での部品交換は、サトウ氏に連絡して了承を得てから行った。

分解整備記録簿(1年定期点検用点検整備記録簿写)

点検の結果及び整備の概要

(☆は1年、5,000km以下の走行距離によって省略できる項目)

点検良好	交換	調整	清掃	清	省
分解	分	締付	給油	給	略
		修	(水)	なし	当
					該

住所	省	略
	該	当
	な	し

使用者の氏名又は名称

サトウ

省 略

自動車登録番号又は車両番号又は
車台番号

省 略

点検(整備)時の総走行距離
78,000 km

自家用乗用車等、別表第6

エンジン・ルーム点検

■パワー・ステアリング

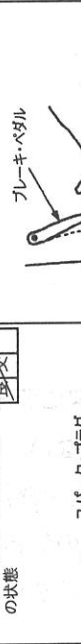
ベルトの緩み、損傷



■点火装置

☆ スパークプラグの状態
(白金が、4/3以上は点検省略可)

点火時期
点火トリビュータのキャップの状態



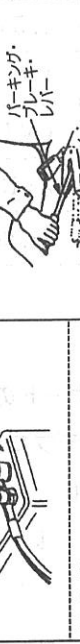
■バッテリー

ターミナル部の緩み、腐食



■クラッチ・ペダル

遊び
切れたときの床板との
すき間



■ブレーキ・ペダル

遊び
踏み込んだときの床板との
すき間



足廻り点検

■ディスク・ブレーキ

☆ ディスクとパッドとのすき間

☆ プレーキ・パッドの摩耗

☆ タイヤの亀裂、損傷

☆ タイヤの溝の深さ、異常摩耗

☆ スペアタイヤの空気圧

☆ ナット、ボルトの緩み

280→420kPa

■ブレーキのマスタ・シリンダ、ホイール・シリンダ、ディスク、キャリパー

マスタ・シリンダの液漏れ

ホイール・シリンダの液漏れ

ディスク、キャリパーの液漏れ

☆ エンジン・オイル

漏れ

■ブレーキ・ホース、パイプ

漏れ、損傷、取付状態

■エキゾースト・パイプ、マフラー

☆ 取付けの緩み、損傷、腐食

日常点検

プレーキ液の量

ハットリ液の量

冷却水の量

エンジン・オイルの量

エンジンのかかり具合、異音

低速加速の状態

ヘッドランプ、ストップ・ランプ、ウインカー・ランプ等の点灯、汚れ、損傷

ウインド・ウォッシュャ液の量

ウインド・ウォッシュャの噴射状態

ワイパの拭き取り状態

■ステアリング装置

ステアリング・ギヤ、ボックスの取付けの緩み

ピグ、アーム類のボールジョイントのダストブーツの亀裂、損傷

■ブレーキ装置

ブレーキ・ディスクの摩耗、損傷

ブレーキ・ドラムの摩耗、損傷

■サスペンション、動力伝達装置等

サスペンションの取付部、連結部の緩み、たが、損傷

ドライブ/シャフトのユニバーサルジョイント部のダストブーツ部の亀裂、損傷

燃料漏れ

その他の点検項目等

●オートライト・受光センサの不

良により、ライト・スイッチをオート

の位置にすると、常にライト類が

点灯状態となっていた。

オートライト・受光センサを交換

し、オートライトの機能に異常が

ないことを確認した。

●エアコン・モード・アクチュエー

タの不具合により、エアコンの風の

吹き出し口がデフロスタに固定と

なっていた。

エアコン・モード・アクチュエータ

を交換し、エアコンの風の吹き

出し口の切り替え機能に異常が

ないことを確認した。

分

良

給

良

給

良

給

良

給

良

給

良

給

良

給

良

給

良

給

良

給

良

給

良

給

良

給

良

給

良

給

良

給

良

給

良

給

良

給

良

事業場名、所在地、認証番号

事業場名、所在地、認証番号

前輪	左	5.2 mm	右	5.3 mm
後輪	左	5.5 mm	右	5.4 mm
前輪	左	7.0 mm	右	7.5 mm
後輪	左	4.0 mm	右	3.5 mm

●タイヤの溝の深さ
(1.6mm以上)

●ブレーキ・パッド、
ライニングの厚さ

CO	0.1	%
HC	10	ppm

●CO、HC濃度
(アイドリング時)

事業場控

次回点検年月日
平成28年5月8日

整備完了年月日
平成28年5月8日

整備主任者の氏名
省 略

整備主任者の氏名
省 略

整備主任者の氏名
省 略

整備主任者の氏名
省 略

整備主任者の氏名
省 略

問題 2 交換部品等

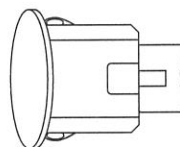
- エンジン・オイル

(図は省略)

- オイル・フィルタ

(図は省略)

- オート・ライト・受光センサ



- エアコン・モード・アクチュエータ

